

**株式会社 堀場製作所 主催
個人投資家向け会社説明会
於 野村證券 京都支店**

“はかる”技術で社会に貢献

2017年12月21日

**株式会社 堀場製作所
(証券コード:6856)**

常務執行役員 大川 昌男

説明内容

- ・会社概要
- ・HORIBAのあゆみ
- ・中長期経営計画「MLMAP2020」
- ・トピックス
- ・株主還元

<免責事項>

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

説明内容

- **会社概要**
- HORIBAのあゆみ
- 中長期経営計画「MLMAP2020」
- トピックス
- 株主還元

概要

本社	京都市南区吉祥院宮の東町2
事業内容	分析・計測機器の開発・製造・販売
創立	1953年1月26日
資本金	120億円
グループ従業員数	7,149名
代表取締役会長兼社長	堀場 厚
決算日	12月31日
2016年12月31日現在	



2017年12月期 通期業績実績/予想

(単位:億円)

	2016年	2017年	
	実績	予想	前年比
売上高	1,700	● 1,920	+219
営業利益	184	● 245	+60
営業利益率	10.9%	12.8%	+1.9p
経常利益	182	● 235	+52
当期純利益	129	● 150	+20
一株利益(円)	308	● 356	+48
ROE	10.0%	10.7%	+0.9p

2017年為替予想
(カッコは2016年実績)

USドル 111円 (109円)

ユーロ 127円 (120円)

為替のインパクト
(前年同期比)

売上高 +29億円

営業利益 +5億円

● → 過去最高

株価推移（過去5年間）

（単位：円）



上場来高値
7,830円（2017年11月9日）
時価総額: 3,300億円

指標（2017年通期業績予想）
1株当たり純資産: 3,493円
1株当たり当期純利益: 356円

社は

「おもしろおかしく Joy and Fun」

人生のもっとも活動的な時期を費やす仕事にプライドとチャレンジマインドを持ち、「おもしろおかしく」エキサイティングに取り組むことによって人生の満足度を高め、よりおもしろおかしく過ごせる。



5つのセグメントからなるバランス経営

自動車計測システム機器



環境・プロセスシステム機器



医用システム機器



半導体システム機器

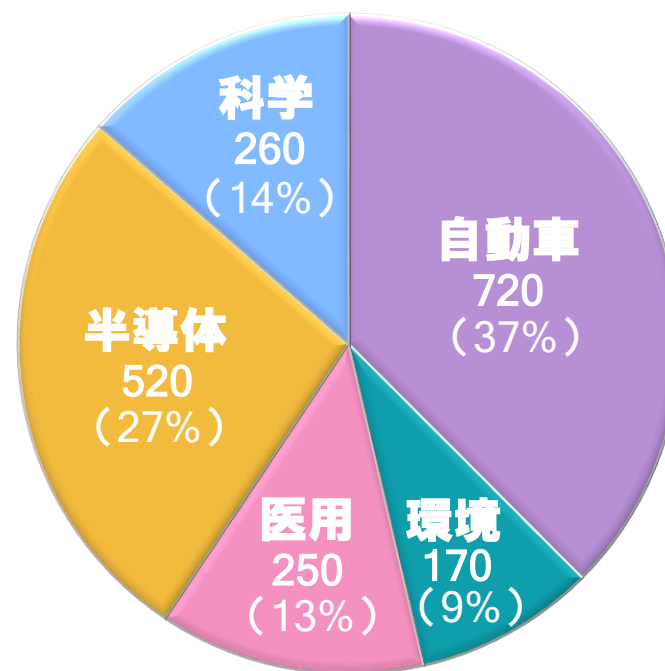


科学システム機器



売上高 1,920 億円

() = 売上高構成比率

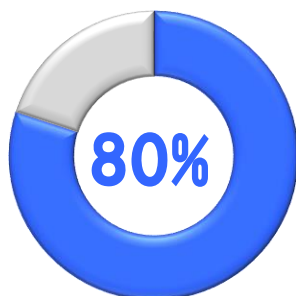


事業セグメント別売上高(億円)

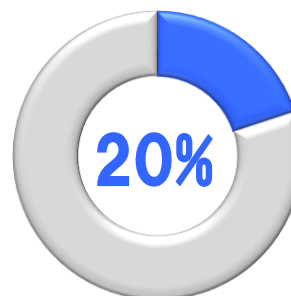
2017年12月期予想

世界市場シェア

エンジン排ガス計測システム



煙道排ガス分析装置

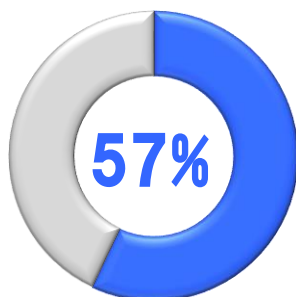


血球計数CRP計測装置

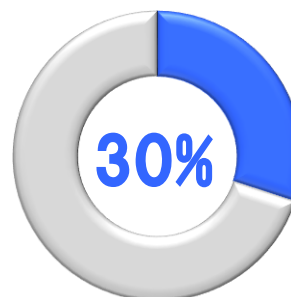


※国内市場シェア

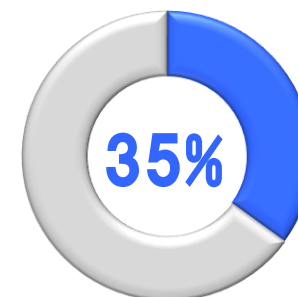
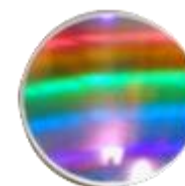
マスフローコントローラー



ラマン分光測定装置



グレーティング



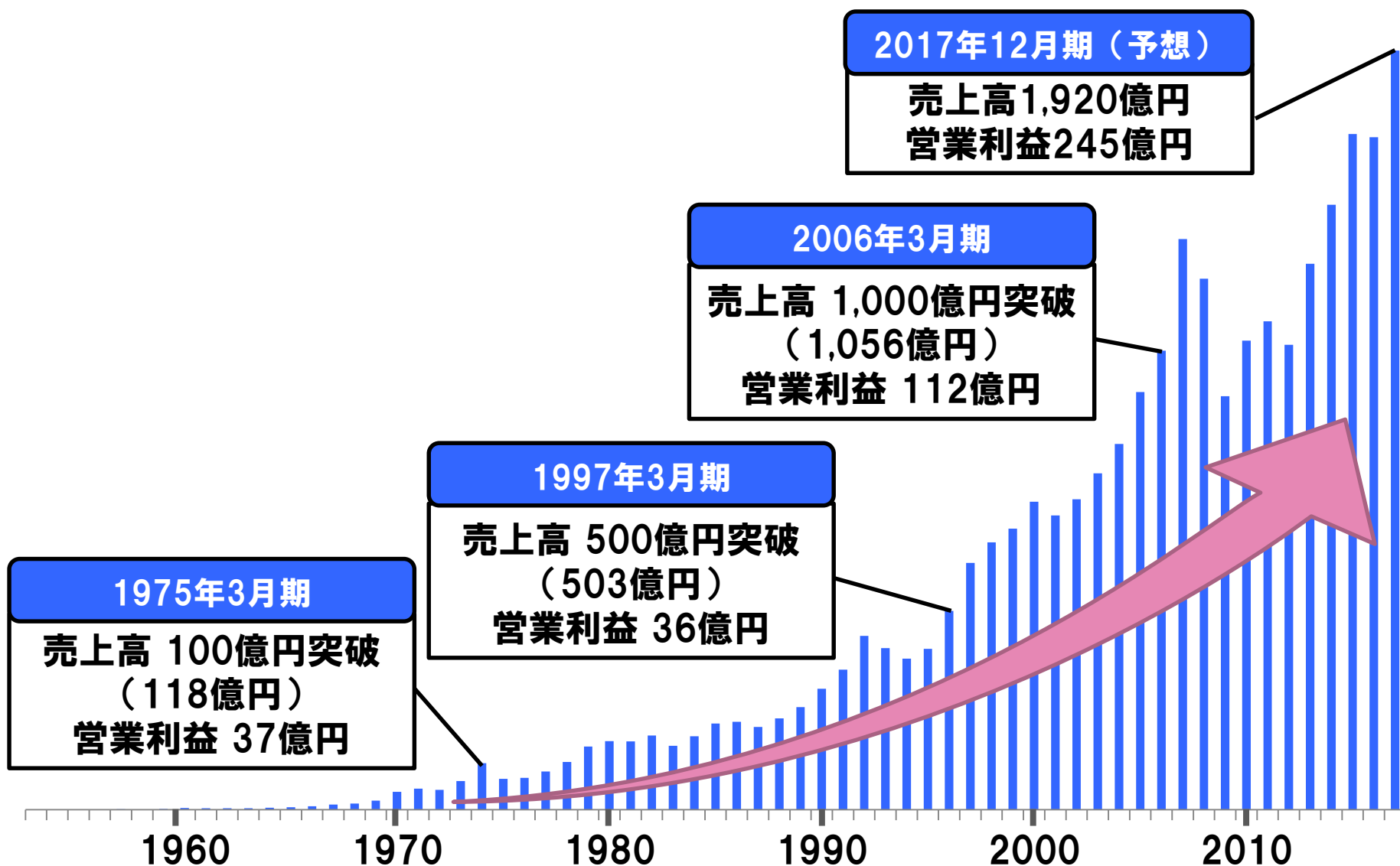
※各製品のマーケットシェアは当社推定値

説明内容

- ・会社概要
- ・HORIBAのあゆみ
- ・中長期経営計画「MLMAP2020」
- ・トピックス
- ・株主還元

過去の業績推移

(単位:百万円)



HORIBAがわかる3つのエピソード



学生ベンチャーとして起業



**おもしろおかしくの精神で
ヒット製品開発**



M&Aで事業拡大

1. 学生ベンチャーとして起業



前身である堀場無線研究所前にて

学生ベンチャーの先駆けとして
京都で起業。
国産初のガラス電極pHメーター
を完成させ「**pHメーターのHORIBA**」
として舵を切る。



当時のpHメーター

2.おもしろおかしくの精神でヒット製品開発

–1960年以降、国内外で大気汚染への関心が高まる–
社長に反対される中、医学用呼気ガス分析計を転用した
エンジン排ガス測定装置を開発。米国の環境保護局に
採用され、HORIBA製品が※デファクトスタンダードに。



エンジン排ガス測定装置
MEXA-ONE

※世界シェア8割



※当社推定

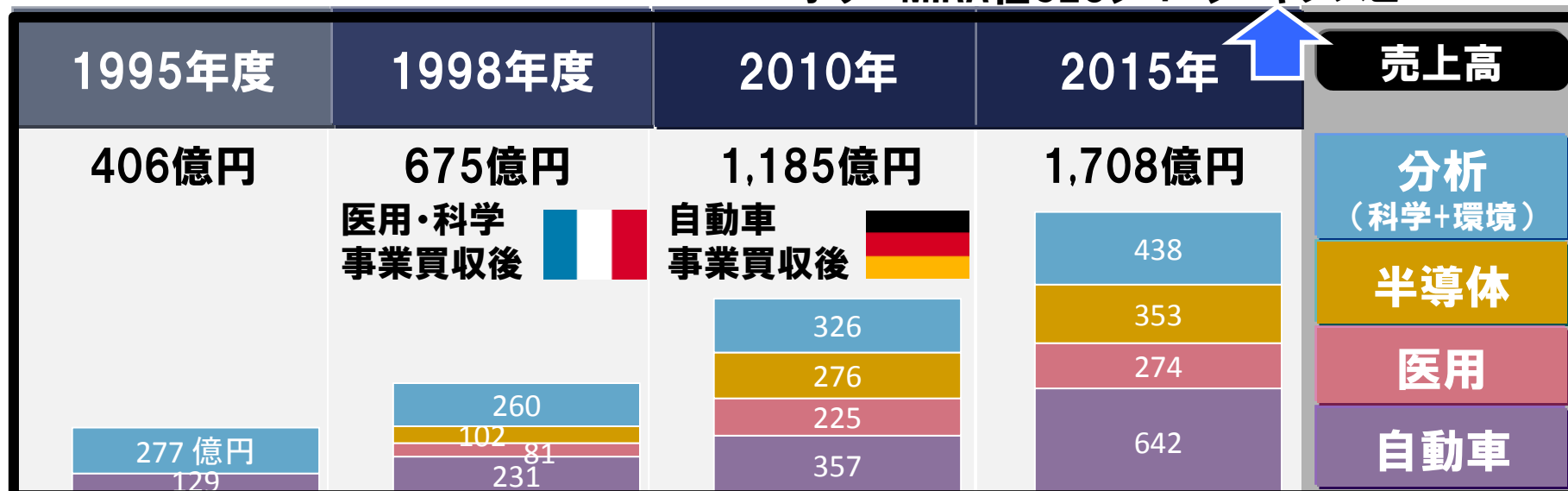
3.M&Aで事業拡大

初代、2代目社長の時代に
築いた技術力を活かし、
グローバル展開を加速！



エンジニアリング事業買収後

代表取締役社長兼会長 堀場厚と
ホリバMIRA社CEOジョージ・ギレスピー



主な研究開発と生産拠点



Oberursel, Darmstadt, Germany
(自動車、環境プロセス、半導体)



Olomouc, Czech
(自動車)



京都、日本
(自動車、環境プロセス、
医用、半導体、科学)



Ann Arbor MI, USA(自動車)



Edison NJ, USA(科学)



Northampton, UK
(自動車、環境プロセス、
医用、半導体、科学)



Nuneaton, UK
(自動車)



Shanghai, China
(自動車、環境プロセス、
医用、半導体、科学)



Irvine CA, USA
(環境プロセス、医用、科学)



Houston TX, USA
(環境プロセス)



Montpellier, France (医用)



滋賀、日本
(自動車、環境プロセス、
医用、半導体、科学)



阿蘇、日本
(環境プロセス、医用、
半導体、科学)



Sunnyvale CA, USA(半導体)



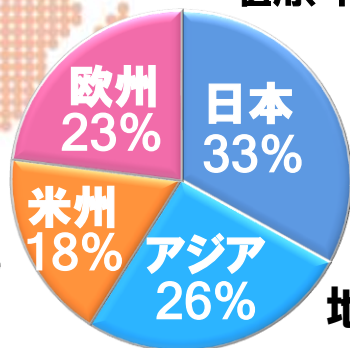
Sacay, France
(半導体・科学)



Longjumeau, France
(半導体、科学)



Sao Paulo, Brazil
(環境プロセス、
医用、科学)

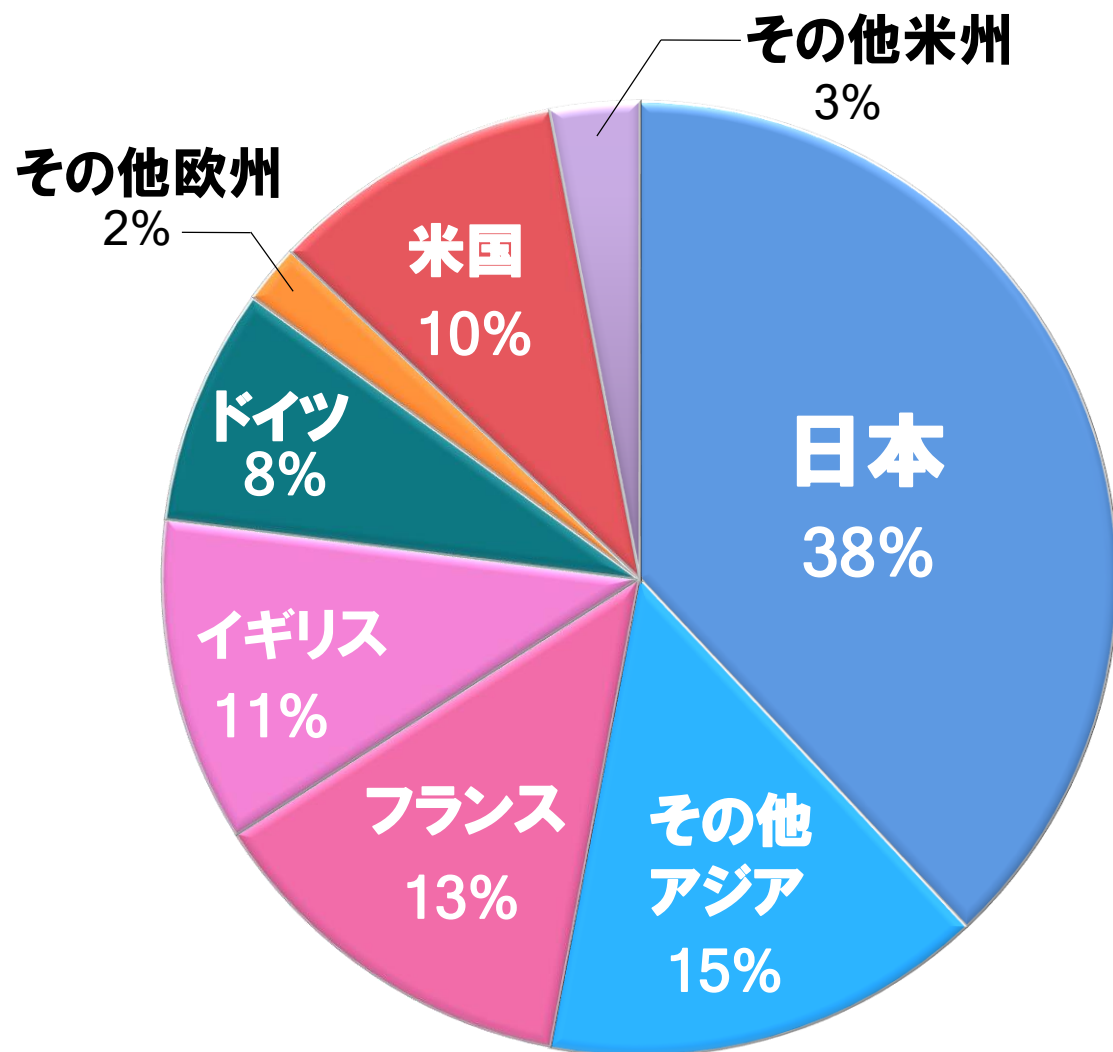


27ヶ国

地域別2016年売上高比率

● 生産拠点
● 研究開発拠点

グローバルな従業員構成



従業員数
2016年12月31日現在

7,149名

アジア: 3,761名

53%

欧州: 2,442名

34%

米州: 946名

13%

創業から2代目社長の時代

1945～1960: 学生ベンチャーで創業、研究開発型企业としての基礎確立

1945: 堀場無線研究所 創業 (1953: 株式会社堀場製作所 創立)

1950: 国産初のガラス電極式pHメーターを完成

1969: HORIBA史上に残る大ヒット製品「MEXA-200 CO計」登場

1970年代: 強力な製品で世界進出

1970: 米国にオルソン・ラボラトリーズ社との合併会社
「オルソン・ホリバ」を設立。海外展開の本格スタート

1980年代: 事業の拡大、次への布石

1980: スタンダードテクノロジがマスフローコントローラーを
発売 半導体分野に進出

1987: フランスの血球計数装置専門メーカー
「ABX社」と提携。

(青文字: 技術史・黒文字: 経営史)



創業者 堀場 雅夫

グローバル展開による成長

1990年代：第二の創業とグローバル経営推進

1992: 堀場厚が代表取締役役に就任

1996: 血球計数装置メーカー「ABX社(現ホリバABX社)」を買収

1997: 「ジョバンイボン社(現ホリバ・フランス社)」を買収
「ブラックジャックプロジェクト(BJ)」スタート



代表取締役兼会長
堀場 厚

2000年代：“One Company”グループ一体で世界に挑む

2007: 6カ国語掲載のブランド本「HORIBAブランドブック」を刊行
活動10周年を記念して、第一回「BJ Award World Cup」開催

2010年代：“One Company”の完成 次なる飛躍へ

2013: 米国キャメロン社より計測設備事業を買収

2015: 「MIRA社(現ホリバMIRA社)」を買収

2016: 滋賀県大津市に
HORIBA BIWAKO E-HARBOR竣工



HORIBA BIWAKO E-HARBOR

説明内容

- ・会社概要
- ・HORIBAのあゆみ
- ・**中長期経営計画「MLMAP2020」**
- ・トピックス
- ・株主還元

数値目標

売上高 2,500億円

営業利益 300億円（営業利益率：12%）

純利益 200億円

EPS(一株利益) 475円

ROE 10%以上

総還元性向 30%目途

為替前提：USDドル＝115円、ユーロ＝125円

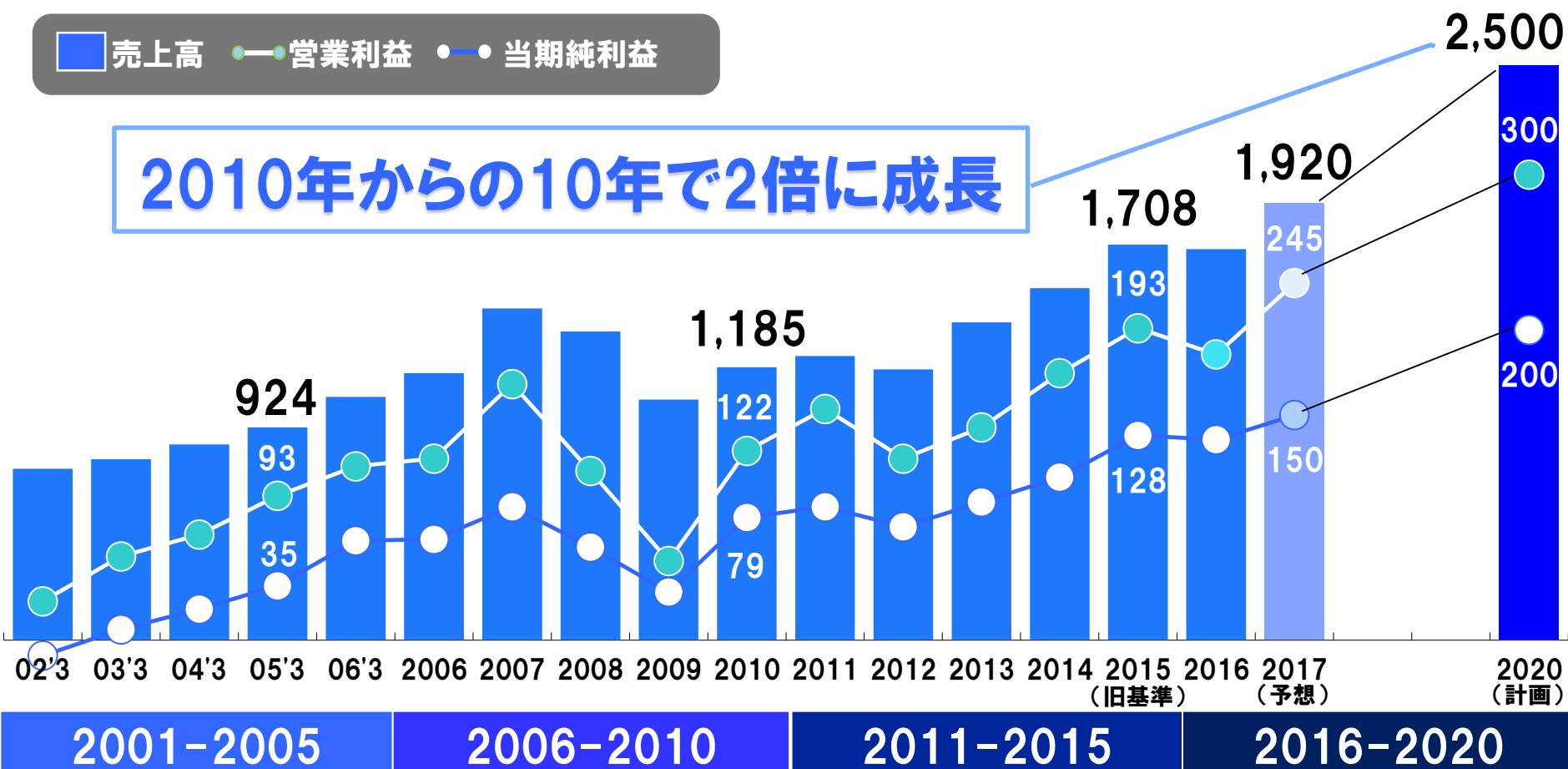
20年間の業績推移・目標

(単位:億円)

売上高・営業利益・純利益の全てにおいて、継続的な成長

■ 売上高 ● 営業利益 ● 当期純利益

2010年からの10年で2倍に成長



※2016年度に収益認識基準を変更しましたが、2015年以前の数値は遡及適用を行っておりません。

中長期経営計画の方針

**HORIBAの技術を新分野・新市場に展開
次なるステージへ“ONE STEP AHEAD”**

**①HORIBA Technologyを新分野・新市場に展開
分析・計測の真のパートナーへ**

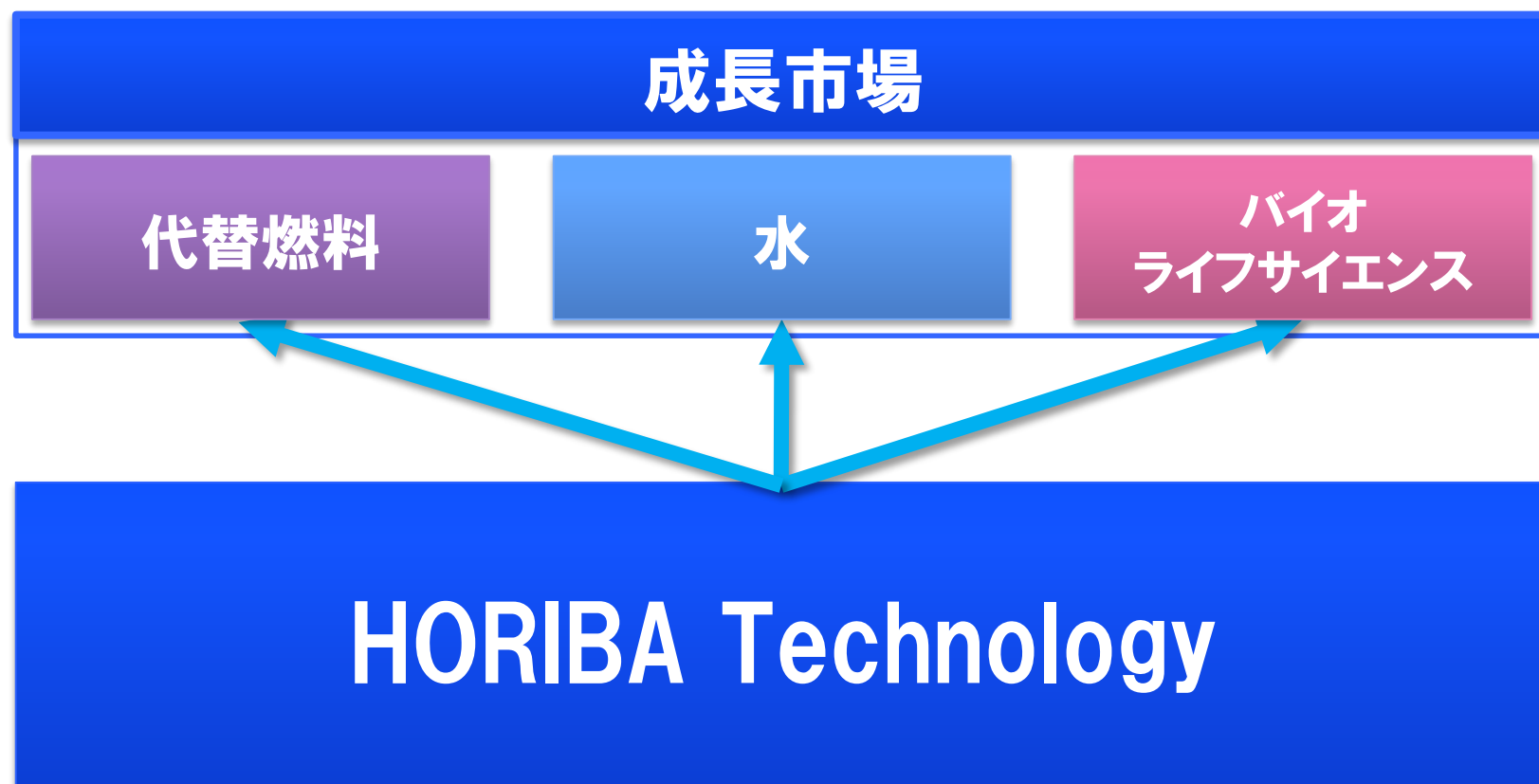
**②バランス経営 / マトリックス組織 /
HORIBAステンドグラス・プロジェクト
をベースに事業成長**

③資産効率の向上と企業価値の最大化



重点施策①分析・計測の真のパートナーへ

各セグメントの技術と顧客ネットワークの相互活用を強化し
HORIBAの分析技術を成長分野に拡大します。



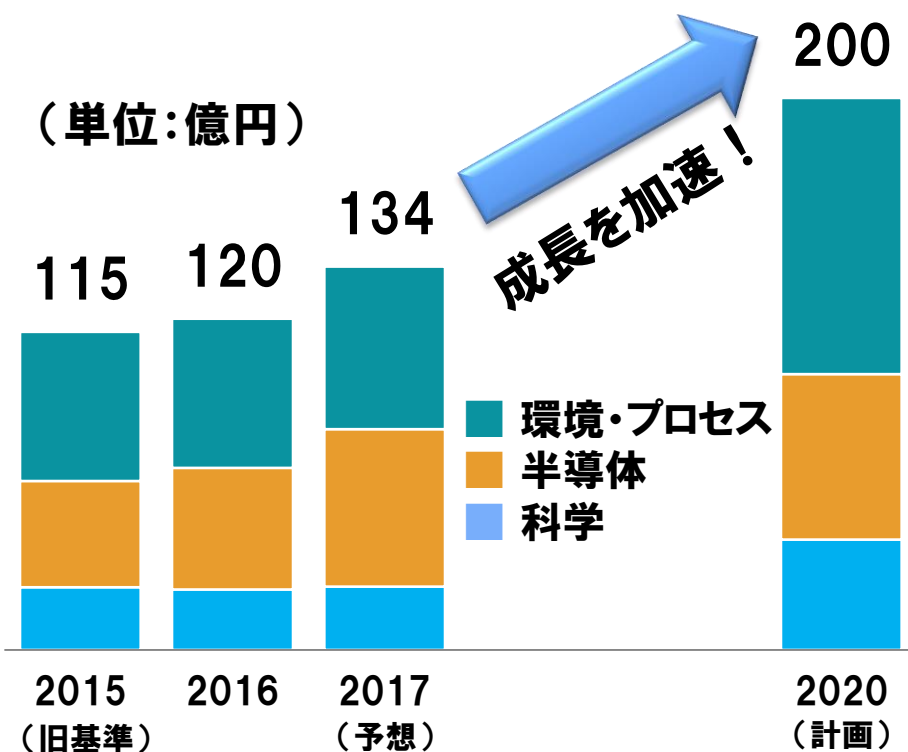
水

水質計測分野での成長加速

株式会社堀場アドバンスドテクノ(京都)に「水」計測リソース集約

水質計測分野での売上高を2倍に100億円→200億円

(単位:億円)



- 超純水から排水を幅広くカバー
- 市場要求への緻密な対応
- IoTを使った水計測ネットワーク創出



水質計測装置

薬液濃度モニター



pHメーター



重点施策②HORIBAステンドグラス・プロジェクト

バランス経営

- ・経営資源の機動的活用
- ・投資事業の集中と選択

マトリックス組織

- ・事業部門と地域での徹底議論
- ・スピーディな戦略実行
- ・シェアドサービス※の推進

★ HORIBAステンドグラス・プロジェクト

HORIBA流ダイバーシティの実現

- ・ベンチャースピリットを継承
- ・チャレンジ精神
- ・「おもしろおかしく」を体現

～Super Dream Team～

働き方改革の実現に向けて

ステンドグラス・プロジェクトの取り組み

STEP1
2014年

「女性活躍推進」からスタート

STEP2
2015年

「働き方改革」ワークショップ

STEP3
2016年

経営・人事・現場をつなぐステンドグラス
現場・組織毎の特徴を生かす

カエル会議



健康経営優良法人2017に認定

HORIBA評価ポイント

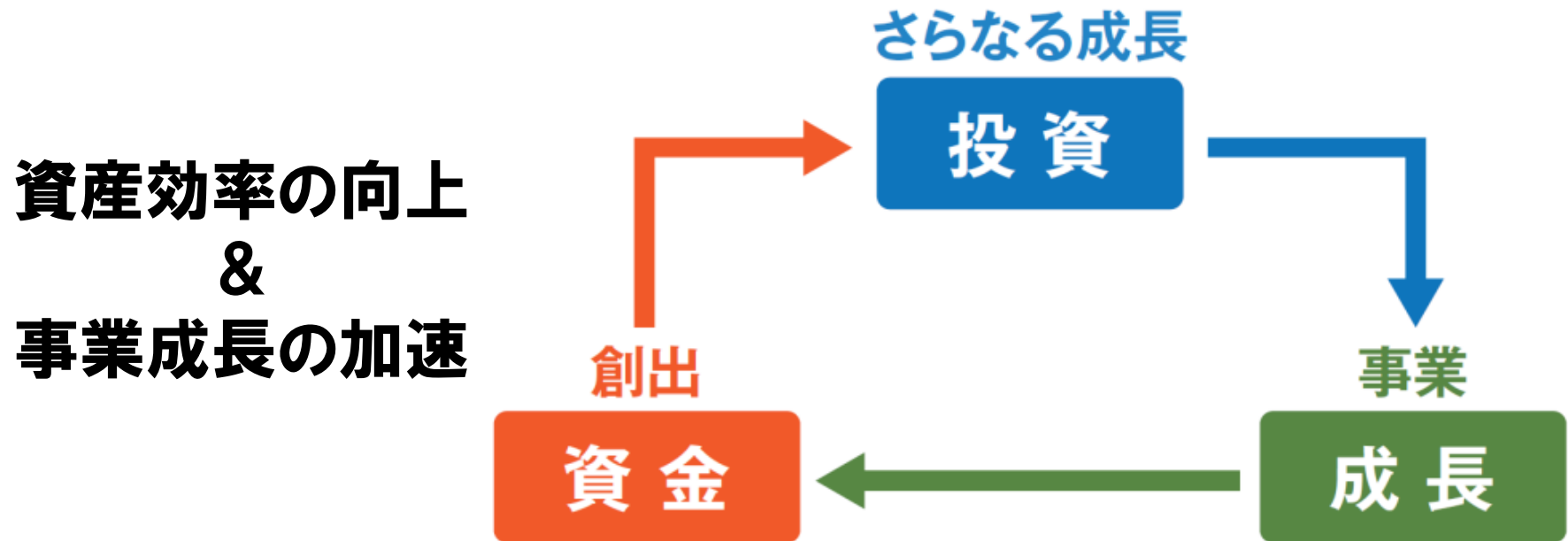
経営トップによる

「“こころとからだの健康づくり”宣言」



重点施策③資産効率の向上

◆ 資産効率を測る独自の経営指標の導入を決定



◆ 英米に金融子会社を設立

- グループファイナンスによる資金効率向上
- 各地域における財務管理機能の強化

説明内容

- ・会社概要
- ・HORIBAのあゆみ
- ・中長期経営計画「MLMAP2020」
- ・トピックス
- ・株主還元

英国MIRA社(現ホリバMIRA社)を買収(2015年7月14日)

広大なテストコースを使った各種実験が可能

マイラ・テクノロジーパーク
顧客30社が入居

テストコース

1 km

試験棟35棟

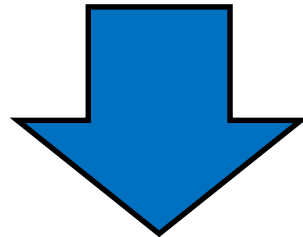
設立 : 1946年
売上高 : 72億円 (2016年12月期)
(48.8百万英ポンド)
従業員数 : 600名 (2016年12月31日現在)

ホリバMIRA社減損損失

2017年12月19日、減損損失計上を公表

金額： 約23億円

**背景： 英国EU離脱決定で
買収時の事業計画を下回る見通し**



ホリバMIRA社が保有する電動化・自動運転に関する技術開発ノウハウを、HORIBAのグローバル顧客ネットワークと繋げることで、次世代自動車開発分野での事業成長を実現します。

ホリバMIRA社の取り組み

－ 次世代の規制対応・技術開発に貢献

最新の排ガス試験設備 開設

- 室内での実路走行を再現
- 温度変化や高地シミュレーションに対応



外観

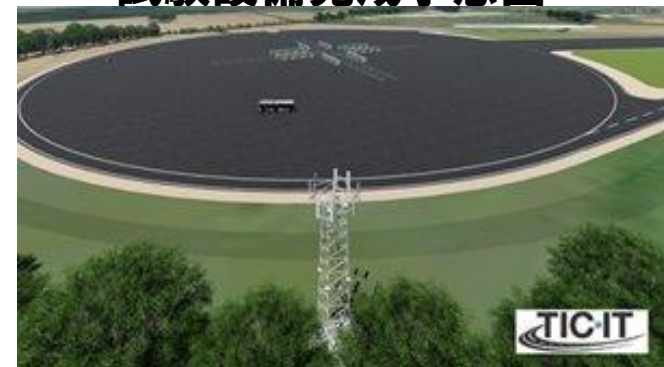


試験設備

自動運転車両開発事業を落札

- 英国政府主導の補助金事業を落札
- 自動運転車両の通信機能の検証や、衝突・車両旋回といった多目的試験を行う設備を建設

ホリバMIRA拠点内の
試験設備完成予想図



堀場STEC阿蘇工場を増築

半導体製造装置のコア部品となるマスフローコントローラー
(MFC:ガス流量制御装置)を生産



完成イメージ

投資:約27億円

完成:2017年12月(予定)

狙い:MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)

現有棟

拡張する生産棟



新たな経営体制に

2017年10月24日の取締役会にて、以下の役員人事が決定

氏名	2018年1月1日～	現在
堀場 厚	代表取締役会長 兼グループCEO	代表取締役会長兼社長
齊藤 壽一	代表取締役副会長 兼グループCOO	代表取締役副社長
足立 正之	代表取締役社長	専務取締役

◆人事異動の狙い

- グループ経営力の強化
- グループ経営体制の明確化
- 更なる開発力強化

同日開催の記者会見の様子(京都市内)



説明内容

- ・会社概要
- ・HORIBAのあゆみ
- ・中長期経営計画「MLMAP2020」
- ・トピックス
- ・株主還元

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

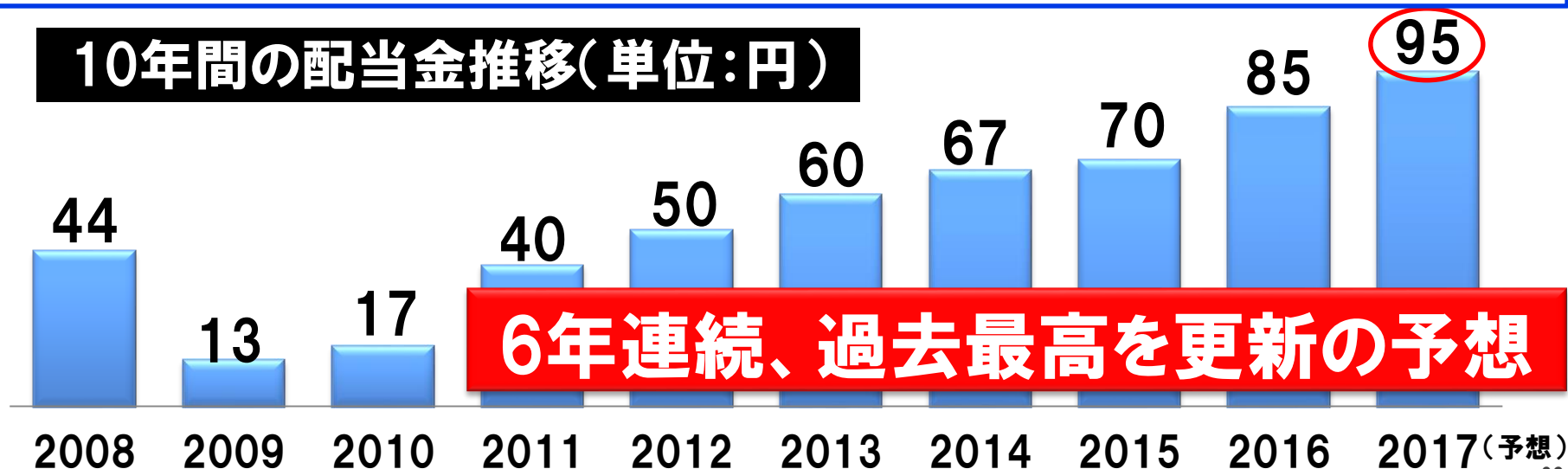
配当金及び自己株式の取得

2015年実績 70円 [中間28円、期末42円] + 自己株式取得(9.9億円)

2016年実績 85円 [中間30円、期末55円]

2017年予想 95円 [中間40円、期末55円]

10年間の配当金推移(単位:円)





ご清聴ありがとうございました

☆最新情報はWebでも！

堀場製作所

検索



☆お問合せ先

経営管理部 IR広報・企画チーム

E-mail : ir-info@horiba.com

TEL : (075)325-5003

Thank you

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

감사합니다

Cảm ơn

ありがとうございました

Dziękuję

धन्यवाद

Grazie

Merci

谢谢

நன்றி

ขอบพระคุณครับ

Obrigado

Σας ευχαριστούμε

شُكْرًا

Tack ska ni ha

Большое спасибо

Danke

Gracias

おもしろく
ありがとう

眞峰

